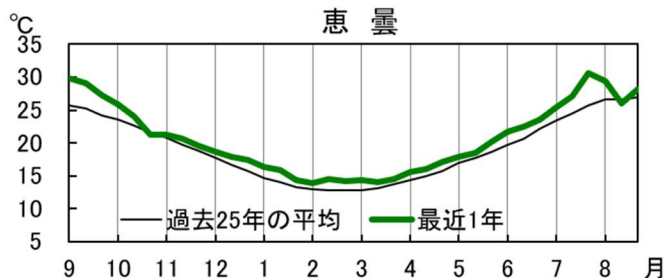




《8月の海況》



8月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	かなり高め	28.3℃	+0.8℃	はなはだ高め	27.7℃	+0.9℃
中旬	平年並み			平年並み		
下旬	やや高め			やや高め		



《8月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の5割、前年の6割、マアジは平年の3割、前年の8割でした。隠岐地区ではマイワシ、サバ類、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は26.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、マイワシは934トンで平年の3.2倍、前年の2.8倍、サバ類は706トンで平年の1.6倍、前年の2.4倍、ブリは604トンで平年の1.3倍、前年の1.5倍、カタクチイワシは133トンで平年の3.5倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の89%）が主体で、1隻1航海当りの漁獲量は449kgで平年を上回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではケンサキイカ（全体の63%）、スルメイカ（全体の37%）が主体で、1隻1航海当りの漁獲量は8.0kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、キダイ、マダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は11.5トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、アカムツは平年の4割、キダイは平年の2.8倍、マダイは平年の1.4倍でした。その他、アマダイ類は平年の1.7倍、マアジは平年の1.4倍、ケンサキイカは平年の1.2倍と好調でしたが、ヤナギムシガレイは平年の1.0倍、アンコウ類およびマトウダイは平年の8割、ムシガレイは平年の4割の水揚げでした。

【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は20.2トンで平年並み、1隻1航海当たりの漁獲量は1.0トンで平年下回りました。エッチュウバイの漁獲量は18.9トンで平年並み、銘柄別では「中」、「中大」および「大」の3銘柄で全銘柄の約88%を占めました。

【しいら漬け漁業】

石見地区のしいら漬け漁業は、ヒラマサ、シイラ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の2.1倍、シイラは平年の1割未満でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではシイラ、カンパチ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は14.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、シイラは平年の2.4倍、カンパチは平年の7.4倍、サバ類は平年の1.3倍でした。石見地区ではサバ類、カンパチ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は7.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の1.1倍、カンパチは平年の1.8倍、マアジは平年の1.6倍でした。隠岐地区ではヒラマサ、サバ類、カンパチ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は4.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ヒラマサは平年の2.4倍、サバ類は平年の14.7倍、カンパチは平年の1.6倍でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、アマダイ類、マダイ、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の1.2倍、アマダイ類は平年の1.3倍、マダイは平年の1.9倍、キダイは平年の1.0倍でした。石見地区ではケンサキイカ、アマダイ類、ヒラメ、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.9kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の1.0倍、アマダイ類は平年の1.6倍、ヒラメは平年の1.9倍、キダイは平年の1.5倍でした。隠岐地区ではマダイ、カサゴ・メバル類、ケンサキイカ、キントキダイ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.9kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、マダイは平年の1.5倍、カサゴ・メバル類は平年の8割、ケンサキイカは平年の5割、キントキダイ類は平年の1.0倍でした。

【令和 8 年 8 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、サバ類、ブリ	2,547トン	115%	97%	26.0トン	121%	100%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	9.9トン	166%	166%	449kg	256%	392%
	西郷	ケンサキイカ、スルメイカ	0.03トン	2%	1%	8.0kg	7%	10%
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、キダイ、マダイ	69.2トン	81%	79%	11.5トン	95%	107%
ばいかご	石見	エッチュウバイ	20.2トン	130%	105%	1.0トン	98%	90%
シイラ漬け	石見	ヒラマサ、シイラ (*操業船が1隻のみのため公表不可)	—	—	—	—	—	—
定置網 (大型)	出雲	シイラ、カンパチ、サバ類	192トン	141%	111%	14.8トン	141%	111%
	石見	サバ類、カンパチ、マアジ	31.3トン	129%	96%	7.8トン	129%	94%
	隠岐	ヒラマサ、サバ類、カンパチ	14.1トン	148%	107%	4.7トン	98%	100%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、アマダイ類、マダイ、キダイ	29.7トン	113%	117%	18.3kg	90%	99%
	石見	ケンサキイカ、アマダイ類、ヒラメ、キダイ	29.2トン	112%	106%	17.9kg	98%	94%
	隠岐	マダイ、カサゴ・メバル類、 ケンサキイカ、キントキダイ類	11.3トン	67%	85%	20.9kg	83%	105%

※ 平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業の CPUE は 1 経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約 20 年に 1 回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり〇〇」：約 10 年に 1 回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや〇〇」：約 4 年に 1 回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約 2 年に 1 回の出現確率である±0.5℃程度の高さ